

令和 6 年（2024）年度 看護学部卒業生 卒業時のアンケート

1. 卒業時アンケート（4 年間の学修とカリキュラムに関するアンケート）

- ・対象者： 95 名（編入生を含む）
- ・分析対象：4 年間の学修とカリキュラムに関する内容で構成された 21 項目（4 段階）
- ・分析方法：4 年間の学修とカリキュラムに関する内容で構成された 21 項目の割合と平均値を算出

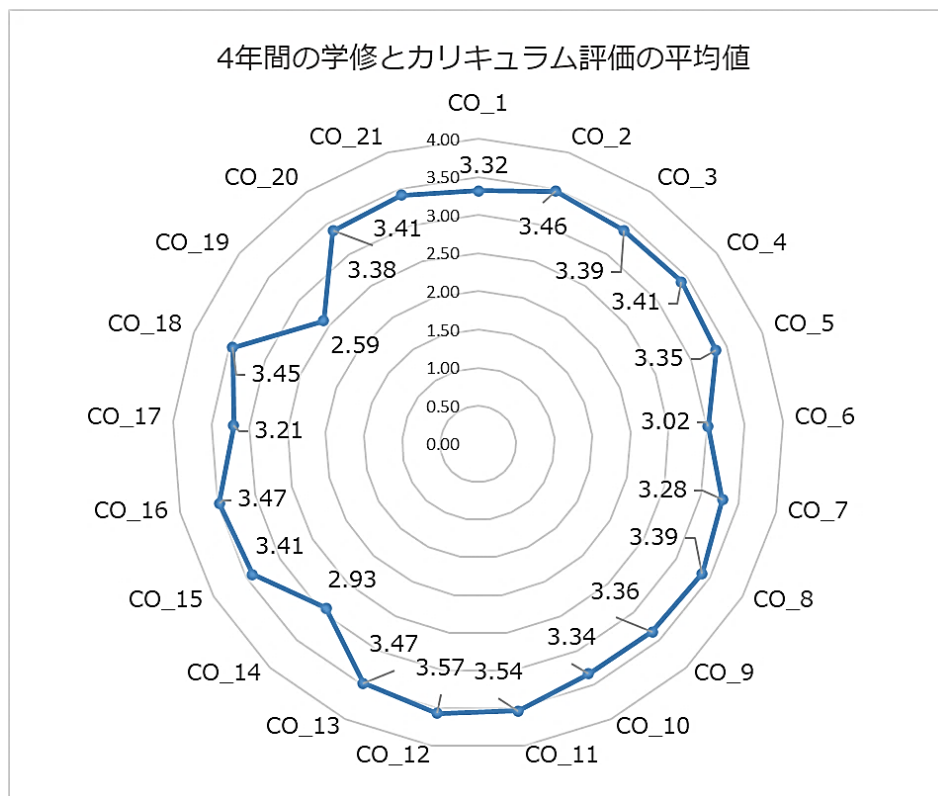
<卒業時アンケートの実施時期と回答率>

実施日	回答方法	回答者数	回答率（％）
2025.2.5	MS Forms	95/97	97.9％

【結果】

1. 卒業時アンケート（4年間の学修とカリキュラムに関するアンケート）





- CO 1_ 学習しやすい順序で科目設定されていた
- CO 2_ 講義・演習・実習における教育内容は一貫していた
- CO 3_ 基礎科目、専門基礎科目、専門科目のバランスは適切であった
- CO 4_ 基礎科目は充実していた
- CO 5_ 興味や関心のある科目が設定されていた
- CO 6_ 各学年の学習量の配分は適切であった
- CO 7_ 各科目の評価方法・評価基準が明確であった
- CO 8_ 人間についての理解が深まる学習内容が充実していた
- CO 9_ 生活についての理解が深まる学習内容が充実していた
- CO10_ 環境についての理解が深まる学習内容が充実していた
- CO11_ 健康についての理解が深まる学習内容が充実していた
- CO12_ 看護についての理解が深まる学習内容が充実していた
- CO13_ 倫理についての理解が深まる学習内容が充実していた
- CO14_ 国際的視野を広げる学習内容が充実していた
- CO15_ 保健医療福祉チームの多職種と共に学ぶ機会が充実していた
- CO16_ 看護実践能力が身につく学習方法が工夫されていた
- CO17_ 学生の個性をのばす教育方法が工夫されていた
- CO18_ 学習に必要な教材（視聴覚教材、モデル人形、標本など）が充実していた
- CO19_ 医学部と併設されている利点を生かしたカリキュラムであった
- CO20_ 主体性を尊重したカリキュラムであった
- CO21_ 全体として自分の将来を考えることのできるカリキュラムであった